

## 顎関節症：標準治療を行うための新たなキーポイント

### 専門家グループによる顎関節症管理のための標準治療更新のお知らせ

一般社団法人日本顎関節学会渉外委員会訳

ニューオーリンズで開催された IADR 総会（2024 年 3 月）において、公開ワーキンググループディスカッションが行われ、INFORM（International Network for Orofacial Pain and Related Disorders Methodology）のメンバーが、顎関節症（以下 TMD）分野における優れた臨床実践のためのキーポイントの提案を最終決定した。これらのキーポイントは、TMD マネジメントにおける現在の標準的治療 (SOC: Standard of Care) を要約したものである。

<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/08869634.2024.2405298?src=exp-la>

キーポイントとその主な内容は次の通りである。

#### 1) TMD 治療時の一般原則

患者中心の意思決定、患者の積極的な関与および治療への期待を理解することが、TMD マネジメントにおいて重要である。

#### 2) TMD の病因論

TMD は生物心理社会的枠組みの中で起こる筋骨格系由来の障害であり、多因子病因によって惹起される。

#### 3) TMD の診断

TMD の診断は慎重かつ標準化された、口腔領域の既往歴に関する問診とその臨床評価に基づいて行われるべきである。画像診断（軟組織に対する MRI、骨組織に対する CBCT）が治療計画や治療結果に影響を与える可能性があるすべての症例において、画像診断を考慮すべきである。なお、電子機器を用いた TMD 診断法は、現在のところ支持されていない。

#### 4) TMD の治療

TMD 治療の効果は、再発や心理社会的悪影響の減少に加えて、痛みの軽減や機能の改善の観点から評価すべきである。TMD 治療の第一選択は、カウンセリングや認知行動療法、暫間的な口腔内装置の使用、および薬理的疼痛管理を組み合わせた保存的なものであるべきである。外科的手術が必要となるのは、ごく一部の症例に限られるかもしれない。なお、咬合あるいは下顎位を是正するために行う歯科的あるいは外科的治療は支持されていない。

## 5) 口腔顔面痛のより広い側面からみた TMD

痛みの慢性化や複数の痛みの症状が同時に存在する場合は、専門医が治療を行うべきであり、また適切な専門医を紹介すべきである。

これらのキーポイントは、その簡潔さにより一般歯科医の理解を深め、不適切な治療を防ぐのに役立つであろう。また、これらのキーポイントは、TMDの管理に関するガイドラインや推奨事項を作成するにあたり、他の国内および国際的な団体にとって指針として活用することができ、世界のさまざまな国々における異なる文化、社会、教育、医療の要件に適応させることができる。

(和訳文責) 小見山 道 (理事長), 西山 暁 (委員長)

(和訳協力) 一般社団法人日本顎関節学会渉外委員会

有馬太郎、飯田 崇、仲井太心、山口賀大

※今回「新たなキーポイント」として提案されているが、元の提案は10年前に出された American Association for Dental Research (AADR) の基本声明のことである。

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/20659695/>

<https://hotetsu.com/s/doc/aadr3.pdf>